



No 2781

2015-2016年度

会長 中元耕一郎

幹事 上野山栄作

R広報委員長 児島 良宗

有田

第2640地区

例会日 毎週木曜日 12:30
 例会場 紀州有田商工会議所6F
 〒649-0304
 有田市箕島33-1
 紀州有田商工会議所2F
 有田ロータリークラブ
 Tel (0737) 82-3128
 Fax (0737) 82-1020

創立 昭和34年6月15日

ホームページ
<http://www.1a.biglobe.ne.jp/aridarc/>
 e-mail aridarc@kdt.biglobe.ne.jp

～ 四つのテスト 言行はこれに照らしてから ～

1. 真実かどうか
2. みんなに公平か
3. 好意と友情を深めるか
4. みんなのためになるかどうか

テ
R
I
マ
世界へのプレゼントになろう
Be a gift to the world
世界へのプレゼントになろう

テ
R
I
マ
奉仕の理想車を走らせよう!!
Let's drive your ideal car of the service!!

次回のお知らせ

- 平成28年5月26日 第2783回
- ・外部卓話：田代 利彦 氏 (有田市立病院事務長)
「全てでの出会い、出来事には意味がある」
 - ・ソング：「それでこそロータリー」

本日のプログラム

- 平成28年5月19日 第2782回
- ・次年度のための時間
会長エレクト 松村 秀一 君
 - ・ソング：「我らの生業」

前回の報告 (第2781例会)

開催日 平成28年5月12日(木)

点 鐘 (中元会長)

ビジターの紹介 (橋爪(誠)親睦活動委員長)

ビジター:董 涛 君(米山奨学生)

米山奨学生挨拶と奨学金の授与



董 涛(トウトウ)君
(中国出身)
奨学期間は2016.4.1～
2017.3.31までの1年間。

大阪府立大学博士課程
人間科学専攻 36歳

使用言語:日本語・中国語

董涛君、1年間
どうぞよろしく願います。



橋本拓也カウンセラーより董涛君の紹介があり、中元会長より、4月5月分の奨学金が授与されました。

今月の誕生・結婚祝 (橋爪(誠)親睦活動委員長)

会員誕生: 應地君、中元君
 夫人誕生: 中元礼子さん、上野山りかさん
 加藤葉子さん、橋本早百合さん
 結婚記念: 上野山(捷)君



5月のお誕生日

(左から)
中元君、應地君です。
お誕生日おめでとうございます。

会長の時間 (中元会長)

人生とはある意味、「別れと出会い」、「終わり始まり」というふうな捉えかたもできるのではないのでしょうか。

昨年の4月から今年の3月にまで、ラオスからの米山奨学生のポンピバック・ダーラーさんが、当会において橋爪誠治カウンセラーを中心とするサポートを受けていました。そして、そのダーラーさんは、今年の3月いっぱいまで米山奨学生を卒業し、兵庫県の漢方の製薬会社に無事就職が決まり和歌山を離れることになりました。

橋爪誠治米山カウンセラー、米山奨学委員会のみなさん、そして、橋本拓也委員長をはじめとする社会・青少年奉仕委員会のみなさまには大変お世話になりました。心より感謝を申し上げます。

また、本日のゲストには次年度の米山奨学生の董涛君が来てくれています。私たちクラブにとって、今まさに米山奨学生の別れと出会いが始まったのであります。橋本次年

度カウンセラー、1年間どうぞよろしくお願ひ致します。

さて、来週の5月19日には、松村会長エレクトによる次期会長の時間が予定されています。いよいよ松村年度が始まるようとしています。松村年度のクラブターゲットはどのようなものでしょうか。ワクワク、ドキドキとても楽しみであります。

中元年度は、残りあと2か月であります。昨年の7月に会長職を拝命して、ほぼ9割が経過したわけです。「光陰矢の如し」であります。「百里を行くものは九十を半ばとす」何事も終わりのほうほど困難であるから、九分どおりまで来てやっと半分と心得、最後まで気をゆるめるな、という戒めの言葉であります。

来週にはロータリーカレッジ、5月末には韓国ソウルでの国際大会が待っています。最後まで気を引き締めて頑張っていきたいと思ひます。また、会員の皆様もどうか最後までご自分の奉仕の理想車の運転、よろしくお願ひ致します。

幹事報告

(上野山(栄)幹事)

- 国際ロータリー米国本部より、ソウル国際大会ご出席者のためのウェビナーの案内 (5/13 参加者にFAXにて案内)
- 国際ロータリー日本事務局経理室より、2016年5月のロータリーレートのお知らせ 5月は1ドル=110円
- 辻ガバナー事務所より
 - 1.既発信文につき誤記訂正とお詫び 2018-2019年度国際ロータリー2640地区ガバナーノミニー確定宣言の中の地区クラブへの通知日に誤りがあった。
 - 2.ロータリー財団セミナー及びR財団委員長会議のご案内 5/21テクスピア大阪
(橋爪(正)ロータリー財団委員長へ)
 - 3.ジャパンナイトに参加の皆様へ服装は軽装でという連絡が入る。
 - 4.第34回RYLA研修セミナーのお礼
 - 5.第34回地区年次大会のご案内 6/12
- 他クラブ週報 田辺西ロータリークラブ (後方掲示)
- 有田タイムス 桜木の手入れ掲載記事 (後方掲示)
- 例会変更 (後方掲示)
- 先週お願ひしました熊本に対する義援金、お一人3000円、まだの方は是非お願ひします。

ロータリー友誌

(児島R広報委員長)

☆横組

- ・21P あなたのクラブに女性会員はいますか？
3PのRI会長メッセージでも女性会員について触れられていますが、ここでは女性会員が認められるまでの経緯が掲載されています。1989年、シンガポールで開催された規定審議会で正式に女性の入会が認められ、今年でまだ27年です。当クラブは、遅まきながら2名の素晴らしい女性会員が入会されました。世界のロータリアンの女性会員20%には遠く及びませんが、日本の平均5%は辛うじてクリアした格好です。

☆縦組

- ・17P 三島RCの勝又一郎君が、94歳で月例ゴルフ大会で優勝
- ・20P 俳壇3句目 堺フェニックス 米田真理子
柳壇4句目 堺清陵 物種唯治
次ページ 新宮 塩崎公治
- ・24P 河内長野東RC 今年もハッピー少年サッカー大会
- ・25P 海南東・西RC セブ島の就業支援プロジェクト
- ・30P 表紙メッセージ
「天空の聖地」
脇村重徳君
3回目の快挙です！

高野山開創1200年記念大法会の様子。この法会の様子をカメラに収めるため、片道65kmを3回も通ったとのこと。



委員会報告

- *情報・研修委員会(橋爪(正)委員長)
「ロータリーカレッジ」の案内
次週5月19日(木) 午後5時30分より橘家においてロータリーカレッジを開催します。
カレッジ終了後懇親会を行います。特別講演は地区の米山記念奨学委員長 浦口英尚氏による「米山奨学会の歴史と現状」です。
本日、出欠の確認を行っていますので、よろしくお願ひします。

- *社会青少年奉仕委員会(橋本委員長)
地元学生に奉仕活動の精神を知ってもらう「桜木の手入れ」が、平成28年5月8日(日曜日)9時 天気は快晴の中、箕島高校生徒会生徒8名、引率の先生3名、守皓会及び東亜ドラム油業のボランティアのみなさま15名、有田ロータリアン14名、総勢40名で溝、会所の掃除と、ベンチ付近の溝に溜まった砂利の撤去を行いました。
今年は4団体合同で清掃活動を行うことができ、坂道の多い広域での活動でしたが、全ての範囲の溝や会所を綺麗にすることが出来ました。お天気にも恵まれ、気持ち良い掃除日和になり、みんなで清掃活動を行うことが出来て、清々しい一日になりました。そして綺麗になったみかん海道で、お弁当もより一層美味しく頂きました。ご協力頂きました皆様、本当にありがとうございました。

出席報告 (上野山(捷)例会運営委員)

本日の会員数27名
 (出席規定免除会員9名)
 出席会員数22名
 (出席規定免除会員8名)
 84.62%
 4/21 92.31%
 MU:成川(守)君

ニコニコ箱の報告 (中村SAA)

中元君:会員のみなさま、「桜木の手入れ」の参加、ありがとうございました。橋本社会青少年奉仕委員長、おつかれさまでした。
 上野山(栄)君:先日の桜木の手入れは父と母を軽井沢のおじの元に連れていく日と重なり欠席させていただきました。おかげで親孝行が出来ました。本日、初めて有田RCに来てくれたトウトウさん、1年間よろしくお祈いします。應地先生、本日の卓話よろしくお祈いします。
 應地君:卓話をさせていただきます。
 成川(守)君:先日の桜木の手入れご苦労さまでした。本日、應地君、卓話ご苦労さまです。
 橋爪(誠)君:應地先生、本日の卓話勉強させて頂きます。よろしくお祈いいたします。トウトウ君、ようこそ有田RCへ。1年間よろしくね!!
 児島君:橋爪(誠)君、お世話になりました。應地先生、本日はご苦労さまです。
 岩橋君:應地先生、卓話楽しみにしています。
 石垣君:應地様、卓話ご苦労様です。
 嶋田(崇)君:應地先生、卓話ご苦労様です。
 脇村君:應地さん、委員長自らの卓話楽しみにしています。
 橋本君:董涛君、ようこそ有田ロータリークラブへ。これから1年よろしく。たのしい充実した一年にしましょう。桜木の手入れ皆様、ありがとうございました。
 上野山(捷)君:應地さん、本日の卓話、楽しみにしています。
 宮井君:應地先生、本日の卓話ご苦労さんです。
 橋爪(正)君:應地さん、卓話御苦労さまです。
 上野山(英)君:應地さん、本日卓話拝聴させて頂きます。米山奨学生董涛君ようこそ。
 松村君:トウトウさん、有田RCへようこそお越し下さいました。應地先生、勉強させていただきます。
 中村君:應地先生、本日の卓話楽しみです。董涛君、ようこそ有田RCへ。

卓話

「クラブ奉仕について」



会員
 應地 正章 君

まず会員組織委員会についての私見を述べます。私は会員増強を目的とした委員会は必要ないと考えております。会員増強はあくまで結果であり、それが目的であるのではないと考えるからです。「あの人が入会しているから、私も入会してあの人のように立派な人になりたい」そう思って入会してくれる人が現れるのが理想です。

1905年のロータリー創立当時には増強拡大という言葉はありませんが、1年後の1906年にはすでに現れています。執拗に会員増強を迫ってくるRIに対して、反論を唱える人も決して少なくありません。でも残念ながら少数意見には間違いありません。RIの方針に従ってクラブに会員増強を伝達すべき立場にあるガバナーの中にも、会員の量よりも質を重んじた発言記録が数多く残されています。これは特に日本に多いように感じます。古い話ですが、1930年7月25日の米山梅吉のガバナー月信にはこんなことが書いてあります。

「日本には米國其他の國に行はるゝ如く一舉に多数のクラブを設立し、無暗に會員の増加を計るを得策とせずとの意見あり。」

また1931年の同じく米山梅吉のガバナー月信には、「11年前日本に於けるロータリー・クラブ創立の當初より、我等の[量よりも質に於て]との理想はロータリー自体の理想と共に固守せられて今日に及べることは、諸君と共に相顧みて満足を感じずる次第なり。我が第70区内には僅かに11のクラブを有するに過ぎざるは、量に於ては少なきに失すとなすものあらむも、質に於ては諸君と共に之が倍数のクラブに匹敵して遜色なかるべきの自信を有す」と述べています。

こんな昔から今日までRIは増強増強と呪文の如く言うてくるわけです。しかし現在もRIや地区の役員で増強拡大を唱えない人はいません。

意味のある奉仕活動ってよく言われますが、意味のある奉仕活動って何でしょうか？奉仕される方が喜ぶ奉仕活動をいうのでしょうか？みんなから賞賛される奉仕活動をいうのでしょうか？そうなんでしょうね。

会員が何人以上あれば意味のある奉仕活動ができ、何人以下なら意味のある奉仕活動ができないのでしょうか？もしそういった意味のある奉仕活動を目指すなら、それは奉仕団体です。勿論奉仕活動をして素晴らしい結果が出れば、それに越したことはありません。あくまで



も結果論です。

あくまでもロータリーにおける意味のある奉仕活動は、その奉仕活動で会員がどれだけ自己を高められたかにおいて判断されるものです。

ロータリークラブの役割は、職業上、地域社会上、国際社会上においてこのような活動ができるような会員を育て上げることにあります。クラブとして奉仕をすることが目的では断じてありません。それが今ではクラブとして何をしたか、RIとしてなにをしたかを、問うことが多くなってきました。外部から問われるのは仕方がないとしても、内部から問うことはないのです。

あくまでも個人が主役なのです。ですからクラブが行う奉仕活動は、会員が奉仕活動をするための予行演習と理解できます。よい結果の出た奉仕活動が行われれば、それはそれで素晴らしいことですが、よい結果の出た奉仕活動に参加しても、只何となく参加しただけではとてもその会員が自己研鑽が出来たとは思えません。

奉仕活動の結果がでなくとも会員がその奉仕活動に全力を挙げれば、そして自己を高めることが出来れば、その方がどれほどロータリー的には良いかわかりません。

基本中の基本はロータリークラブは、奉仕団体ではなくて、人を育てるところなのです。そしてクラブの価値はどれだけの奉仕活動をしたかで決まるのではなく、どれだけ素晴らしい人を育てたかでそのクラブの価値が決まるのです。

勿論会員数の多い方が、会費に対する事務費などの固定費の割合が少なくなりますし、会員卓話も豊富ですし、講演料の高い外部のスピーカーも呼ぶことができます。しかし奉仕活動も自分のクラブに合ったことすればよいのであって、大規模な奉仕活動をしたから素晴らしいではありません。中身の問題です。その奉仕活動で会員がどれだけ自己研鑽が出来たかが問題なのです。

各会員が自己研鑽に熱心であれば大丈夫です。大切なのはクラブの大きさではありません。会員個々の問題です。

私たちは何のためにロータリーに入会したのでしょうか？自己を磨くためにロータリーに入会したのではないのでしょうか？でも、そうはいつでも増強は必要だと考える方が大半なのです。

次に、例会運営委員会の話に移ります。毎週1回の例会が当たり前のようになっていますが、ロータリー創立当初は2週間に一度でした。すぐに1週間に一度になったようです。定款を読んでもらって分かるように例会時間を一時間と限定する規定はありません。クラブ定款で定められているのは、例会の場所と曜日と開始時間だけであって、例会時間に関する取り決めはなく、単なる慣例として、一時間例会を行っているに過ぎないのです。これはあくまで日本の場合です。特別なプログラムのために例会時間を延長することも自由であります。

重要な仕事と例会が重なった場合は、当然仕事が優先されます。私は医者ですから、どう考えても、急患を断ってロータリーの例会に出席することが、医師の倫理にかなうとは思えません。また不幸にして健康を害した時も同様です。這いながら例会に出席することが、立派なことだとは思えません。やはりその時は治療を優先すべきで

す。

しかし会員が這ってまでも出席したい例会があるとすれば、それは理想です。特別な事態が起こった時は常識が優先するのは当然です。そのために、メイクアップ制度があるのです。

100%出席はロータリアンにとって当たり前のことです。それは事業も安定し、健康に恵まれているからこそ達成できるものであります。健康に留意し、自己管理を怠らないことが100%出席の原因であるとすれば、何と素晴らしいprofitsでしょう。メイクアップを有効に活用して、ぜひともその目標に向かって努力していきたいものです。

しかし例会は奉仕の心を形成するために自己研鑽をする場ですから、奉仕の実践の場である社会奉仕活動や国際奉仕活動の場を例会出席のメイクアップとみなしたり、インターネットによるアクセスをメイクアップとみなす規定には大きな矛盾を感じます。

ロータリーは60%ルールを採用していますから、1時間の例会ならば、その60%即ち36分間例会に参加すれば、出席したものとみなされます。更に今では、60%参加しなくても、適切な理由があれば、理事会が出席と認めることが可能となりました。特殊な事情のある時の会員を救済する方法として60%ルールがあるわけで、例会の60%の時間が経過したら、退席する権利があるわけではありません。

またメイクアップの申告は、本人がメイクアップしましたと言えば事足りるわけで、証拠は必要ありません。メイクアップカードの発行もしなければならぬという決まりはありません。発行してあげたほうが親切であるということで、発行しているに過ぎないのです。

本来会員は100%出席を求められます。しかし入会した間もない頃は例会に出席の意義が判らず、仕事を中断してまでも例会に出席しなければならないのは理不尽であると思っている会員がほとんどではないでしょうか？しかし会員は例会に出席できるように環境を整備すべきであり、会員にはそのように配慮できる裁量権がある人が会員になっているはずで

す。クラブの会員は、仕事の時間をさいて例会に出席しているのです。仕事の休み時間に食事をしにくるのが目的ではないこというまでもありません。仕事で得られる利益にまさる利益が、例会出席で得られてこそ、例会に出席する意味があるのです。義務として例会に出席して、そこで生じた仕事のロスをぼやくのではなく、特権として出席した例会で得られるものの方が、大きいということが理想であり、執行部はそのような例会を開催することを求められております。

クラブは有意義な例会を開いているかどうかを自らに問う必要があります。例会中に居眠りをする会員を批判するだけではなく、会員に居眠りをさせる例会しかできなかった執行部自らも自己批判しなければなりません。

例会出席によって大きな利益を得るといふ、ロータリアンの特権を行使するために例会に出席するか、それとも義務としていやいや例会に出席するかによって、会員の将来に大きな差が現れてきます。